

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374700249
事業所名	グループホーム はるすのお家いわくら

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目：2)	評価
	散歩時には近所の方と挨拶をしたり、野菜を頂くこともある。ホームの夏祭りには近所に声かけし参加を呼びかけた。秋には子ども達の獅子舞の訪問があり、大山寺の芋煮会には、テーブルやいすを町内会が用意し招待された。小学生が町探検でホームを訪問したり、日常的に遊びにきたりしている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目：3)	評価
	会議は奇数月に開催され、メンバーは家族代表、入居者代表、区長、民生委員、地域包括支援センター職員となっており、任期は1年で交代する。会議では、ホームの様子や行事等の報告を行いメンバーからは意見やアドバイスをもらっている。議事録は誰もが見られるようにホーム玄関に掲示している。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目：4)	評価
	運営推進会議の議事録や介護相談員の報告書を提出時に、担当者との交流を図っている。市職員のための新人研修には、ホームより講師を派遣している。また、市主催のふれあい祭りに参加している。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目：6)	評価
	意見箱を設置しているが利用する家族はいない。家族の訪問が多く、来訪時には家族の意見や要望を聞くようホームの方から声かけを行い、話す機会を設けている。毎月「はるす通信」を発行し入居者の日々の様子や行事案内等を掲載している。ホームの行事には家族同士が交流できるよう呼びかけを行っている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価						

1.外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2.外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2.事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3.運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4.市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6.運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注)要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。